

月のことば (678)

ある結婚式で、ご両親が新郎新婦に、夫婦生活が仲良く長く続けられる秘訣として語られた言葉です。

それは、毎朝、「おはよう。」と必ずお互いが声を掛け合うという事でした。夫婦生活が長くなりますと、時にはパートナーに声をかける元気がない日や、心配事で頭がいつぱいの日、ケンカして顔も見たくない日がある事でしよう。でも、「おはよう。」と声を掛け合う事で、一日の始まりが何故だか気分が軽くなるからと言いうことでした。でも、単純ながら継続が難しいものだとも思いました。

私たちも、「南無阿弥陀仏」と、阿弥陀様から呼びかけられていることにより、感謝を言葉に表して一日を始めることが、生きていく上でこの上ない安心がいただける。喜びを感じあう生活が大事と思った。

人の世に 平安と

柔和の こゝろを

